



春日小だより

令和6年5月31日
練馬区立春日小学校
校長 後藤 京子
学校通信 6月号

食育月間とSDGs

校長 後藤 京子

5月25日の体育発表会には、大勢の方にご来校いただき、子どもたちに温かい声援を送ってくださりまして、ありがとうございました。練習の前半は、天候の悪い日が続き、思うように取り組むことができませんでした。後半は、気温の高い日が多く、水分補給を十分に行いながら練習を行ってきました。おかげさまで体育発表会では、子どもたちは努力の成果を精一杯発表することができました。保護者の皆様には、練習期間中、日頃にもまして、お子さんの体調管理や体操服のご準備など、ご協力いただきましてありがとうございました。

6月は、食育月間です。令和3年度から5年間を計画期間とする第4次食育推進基本計画において、毎年設定されています。この中では国民が健康で心豊かな生活を送るためには、「健全な食生活を日々実践し、おいしく楽しく食べること」また、「基盤として持続可能な環境が不可欠であり、国民が一体となって食を支える環境の維持に資する食育を推進すること」とされています。

本校では、6月を、食の視点からSDGsについて子どもたちと考える特別月間にしたいと考え、栄養士とともに、様々な取組を行ったり、子どもたちに伝えたりしていきます。

まず、6月の残食量を測り、昨年度と比較します。残食があるという事は、ゴミが増え、焼却場に運ぶコストがかかり、燃焼するエネルギーを使うことで、二酸化炭素を排出してしまいます。そこで、残食をおにぎりに換算し、毎日どれくらいの給食を残しているのかをグラフ化し、低学年の子どもたちでもわかるように掲示します。

また、好き嫌いは、栄養のバランスを崩し、体に不調をきたします。はらぺこだよりでは、SDGsの目標を記して意識付けたり、食材や料理の由来について説明したりして、食への関心を高め、嫌いな食材を一口でも多く食べられるようにしていきます。どうしても残ってしまった食べ物は、ごみとして捨てるのではなく、「練馬の大地」という肥料にして、区内の農家でつかってもらっています。お米は、特別栽培米を使用することで、農薬や化学肥料の使用を減らし、環境への負担を少なくしています。地場産の野菜を活用することで、食べ物の運搬で排出される二酸化炭素の削減をはかります。

さらに、昼の放送では、「SDGsラジオ」を流し、日本を代表する各企業の取組を1分間のラジオ放送として聴きながら学びます。

6月19日は、食育の日です。各ご家庭でも、人が生きていくのに欠かせない「食」について、話題にしながらご家族で食事を楽しんでください。

◆◆お知らせ◆◆

6月の学校公開について

6月8日(土)の学校公開については、全学級3時間とも授業公開をいたします。インフルエンザ等、感染防止にご注意のうえ、ご参観ください。授業予定等につきましては別途sigfyで配信された文書をご確認ください。

今後の学校使い等配布について

以前よりお伝えしておりますが、今年度から練馬区では情報伝達システムsigfyが導入され、欠席連絡や学校からの連絡メールがsigfyを通して行われています。これまで紙で配布していた文書等も、sigfyに添付する形で配信可能となりました。それを受けまして、学校便りも今回を最後に、紙での配布を原則行いません。7月号より、sigfyに添付して配信いたします。また、それ以外の手紙に関しても、原則はsigfy配信となっていきます。ただし、給食便り・献立表に関しては、児童向けの文面でもあるので、紙での配布を継続いたします。

もし、事情があって、紙での配布を希望される場合は、担任を通してご連絡ください。予備印刷分をお渡しいたします。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。